

わんにゃん通信

2025

1月

担当

吉村

明けまして おめでとう ございます
本年もよろしくお願ひします

一年が過ぎるのがあつという間で、
令和になってもう7年目になるのにビックリです。
今年こそは早目に 2025年と令和7年に頭も手も
切り替えてくれればいいな…と思います。



今年は去年に比べて少し暖冬気味でしょうか？

去年だったら帰ったらすぐに暖房を入れていましたが、

今年は暖房を入れなくてもまだまだイケるな！と思う日が度々ある気がします。

それでも、可愛いうちの子が寒がったら、つつい暖房を使っちゃうんですよね～(´・ω・´)

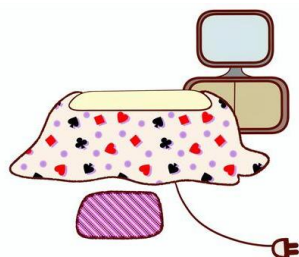


気を付けて！冬の暖房機器！



「うちの子は大丈夫！」
…信じすぎてませんか？
病院に来院された例も含めてもう一度
部屋の中を見回していきましょう！

こたつや ホットカーペットのコード



対策

- ・配線カバー(コードカバー)
(噛みにくい形状や強度のあるもの)
- ・バリケードで近づかせない。
- ・人が見てない時はケージに入れる。
(ケージの周囲にコードやコンセントがない
ように配置に注意も必要です。)

・感電・発火・誤飲
様々な危険があります！
見過ごさないよう気を付けて下さい！

私が犯人の
「ハツ」です。
皆をヒヤリとさ
せました。



暖房機器ではありませんが、
古川動物病院の「ハツ」もやらかしています…。
診療終了後、院内に病院の犬猫を出していますが、夏
に受付内に置いてあるサキュレーターコードを噛ん
でいました。幸い何もありませんでしたが、それ以降、
犬猫受付内進入禁止！今までの犬猫はコードを噛んだ
事がなかったので、今回の事で「うちの子は大丈夫」
が大丈夫ではないことを実感させられました。
スタッフ一同大反省な出来事でした。

コタツ・ホットカーペット



人間も大好き！コタツのホットカーペット★
危険なのはもちろんコードだけではありません。犬も猫も虜にしてしまうコタツは一度入ると出たくないのは皆一緒！
低温やけどの危険性や、体温調節がきちんと出来てない若齢・高齢動物は脱水症状や熱中症になるリスクが高くなります。

対策

- ・設定温度を「弱」
- ・長時間使うときは電源を切る
- ・水分を取る工夫をする
- ・動物の様子をチェックする

ヒーターやストーブ



朝起きたらすぐつけたくなりますよね…
起きたら猫がヒーターの前陣取ってるのみとニマニマしてしまいますよね…
でもやっぱり気になりますよね。近すぎることに。低温やけどはもちろん、猫だとストーブの上に乗ろうとするんですよね！危険すぎます！



対策

- ・近づかせない
 - ・設定温度を低くする
- 想像通りの選択しかありませんね(´・ω・`)

部屋の温度設定



高齢動物は体温調節が低下し、温かさを感じにくくなります。シニアがいるご家庭では、少し高めの設定がオススメです。
一方で、寒さ対策にばかり気を取られすぎて、温めすぎると冬でも熱中症の危険があります。
また人と同様、乾燥にも気をつけて、加湿器なども使用して、湿度にも注意しておきましょう。

対策

- ・動物が「暑い」と感じた時に自分で動けるようにする
 - ・新鮮な水をすぐに飲めるようにする
- また、犬の種類やお住まいの地域の気候などでも変わってきますので、それぞれに合った設定温度が大切です。

他にも、ホッカイロも低温やけどの危険性があります。
種類によってかなり熱くなるタイプがあります。寒いから温めながら来院したい場合はホット用のペットボトルにお湯を入れてタオルで巻いて湯たんぽ代わりに使うなど工夫し、ペットボトルもタオルに包んだ後、一度自分でどれ位熱くなってるかの確認も忘れないようにしましょう！



今月で古川動物病院を退職される倉重先生より一言頂きました♪



1月いっぱい古川動物病院を退職します。6年間という短い間でしたが、色々なわんちゃんねこちゃん達との出会いと別れがありました。ここで培ったものを更に育てていき、動物達の幸せを守っていかれたらと思います。少し離れますが、佐賀市より皆様と動物達の健康を願っております。ありがとうございました。